

OBJET D'ART COLLECTION_{tiles}, architectural terracotta, and assorted ceramic wares October 5 2019 - March 31 2020 2019年10月5日(土) 2020年3月31日(火)

これぞ便器の名品!

テラコッタ、現代にはない職人技



登窯で焚いた、逸品の土管



INAXライブミュージアムは LIXIL が運営する文化施設です。

主催:INAX ライブミュージアム企画委員会 企画アドバイザー:竹多格 (タイル研究家) 展示デザイン・会場グラフィック:中原崇志、早川大祐、永田耕平、丸古実[DENBAK-FANO-DESIGN]

タイルで世界一周



INAXライブミュージアムは、「窯のある広場・資料館 | からはじまりました。

大きな窯を内部に持つ土管工場は、常滑の歴史を物語るシンボルの一つです。後世に残 したい思いから、改修し1986年より一般に公開しています。これがコレクション第一号となり ました。以来、世界各国の装飾タイルや建築装飾陶器・テラコッタ、古便器、土管などが集 まり、収蔵品は広がっています。

このたび、近代のものづくりを象徴する文化財である「窯のある広場・資料館」の保全工事 が終わり、リニューアルオープンいたします。これを機に、展示する機会が少ない稀有で貴重 な「名品」を収蔵庫から出し、一堂に展観いたします。

その多くは日本の美術史では登場しないものですが、人の暮らしや日本の近代化を支えた 道具であり、さらには真摯なものづくりの心や暮らしを彩る気持ちが凝縮した「美」が宿ってい ます。

稀有なコレクションをご覧いただくまたとない機会となります。ものづくりと暮らしを彩ってき た、やきもののの魅力をご堪能ください。



The inaugural INAX Museums collection is Kiln Plaza, featuring a black-walled stoneware pipe factory whose tall chimney and large interior kiln are symbols that have helped recount the history of Tokoname ware. The renovated and consolidated structure was opened to the public in 1986, with the hopes of passing along this heritage to future generations.

This history represents the beginnings of the INAX Museums collection, which has been continuing to expand ever since this time. This includes goods that have enriched peoples' lives such as decorative tiles from around the world, architectural terracotta, pottery toilets, and stoneware pipes, along with ceramic wares that have played an integral role in modern Japanese life.

Three years of maintenance work have taken place at Kiln Plaza, which is a cultural asset symbolizing modern monozukuri. On the occasion of its re-opening, we are pleased to host a consolidated, must um-wide exposition featuring precious objets d'art culled from our archives that have rarely been exhibited to date.

While many of these ceramic wares do not feature within the catalogue of Japanese art history, they have been essential to peoples' lives and to the modernization of Japan. Herein, we find essential notions of beauty such as a sincere spirit of craftsmanship, as well as a desire to enliven the everyday.

This is a unique opportunity to view a rare collection, which includes items that offer a fascinating glimpse into peoples' lives and the innovations of manufacturing. We invite you to enter this alluring world, whose ceramic articles are as delicate as they are strong.

関連イベント 講演会&館内ツアー 2019年11月23日(土·祝)

「私が選ぶ、INAXライブミュージアムの『名品』」 講師:森由美[陶磁研究家] 染付の大皿や鉢を見続けた専門家は、染付タイルや染付古便器のどこを見るか。見方、そして「名品」 と判断するポイント、さらには膨大なコレクションを前に自分なりの楽しみ方をお話しいただきます。 ※詳細はHPをご確認ください。

もり・ゆみ 東京生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修了(保存科学専攻)。 戸栗美術館学芸員、日本陶磁協会を経て、独立し執筆、講演、企画制作、テレビ番組「なんでも鑑定団」出 演などて陶磁器や伝統文化の分野で多岐にわたり活躍。著書に「古伊万里 IMARI ジャパノロジー・コレクショ ン』(角川ソフィア文庫)、『古伊万里 蕎麦猪口・酒器 1000』(講談社) ほか。

表面◎右上:テラコッタ、新橋演舞場、日本陶業、1925年/右下:白地多彩幾何文タイル、スペイン、15世紀、 140×140cm / 左上: 向高形小便器 染付花と蝶図(牡丹と芭蕉)、「還情園池紋製」銘、瀬戸、明治時代後期、径 32.2cm、高さ64.3cm /左下:金島山1尺5寸土管、常滑、19 世紀末、内径 48cm、長さ70cm

裏面◎1.テラコッタ、エザキ旧本社ビル(獅子)/2.海鼠釉尿瓶/3.染付朝顔図朝顔形小便器/4.耐酸炻器製曲コッ ク(大) / 5.絵織部敷瓦/ 6.狛犬、沼田一雅/ 7.シリアモザイクタイル(虎) / 8.タイル、エルカプリチョ、ガウディ 9.陶彫マケット、顔、岡本太郎/10.硫酸瓶/11.ラスター彩獣文星形タイル/12.愛宕下遺跡出土の常滑産素 焼土管/13.青織部厠下駄/14.多彩草花文タイル/15.テラコッタ、丸石ビルディング(旧太洋ビル)/16.多彩 草花文レリーフタイル/ 17.帝鑑図屏風「丹書受戒」、江戸時代初期

INAX ライブミュージアムへのアクセス



→ 名鉄線 「常滑駅」 または 中部国際空港より 知多バス「知多半田駅」 行き 「INAXライブミュージアム前」下車 徒歩2分

お重(乗用車・バス駐車場完備)

- → 名鉄線 「常滑駅 」 より約6分 → 中部国際空港より約 10 分
- (「りんくう IC | 降りる)
- → 知多半島道路 「半田 IC」より約 15 分 → セントレアライン(名古屋方面から)
- 「常滑 IC」より約7分

〒 479-8586

愛知県常滑市奥栄町 1–130 TEL. 0569-34-8282

FAX. 0569-34-8283 https://www.livingculture.lixil/ilm/

